

河上奈未 陶展 - ふたつの世界 - 開催のご案内

Nami KAWAKAMI pottery exhibition



【展覧会詳細】

会期 | 2022年10月8日(土) - 10月16日(日)

時間 | 12:00~18:00

休廊日 | 10月13日(木)

会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL : 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com



このたび、ギャラリーヘプタゴンでは、河上奈未 陶展「ふたつの世界」を開催いたします。

手びねりで作られる、日々の暮らしで使うことを意識した「友達のような」器と

作家の内面をみつめ、「この世界を理解するために繰り返す思索の証」と語る立体。

まったく異なるアプローチで生まれるため、当初同じ展覧会で並べることに戸惑いもあったこのふたつをあえて同展示に置くことを試みます。

並列するふたつのストーリーをお楽しみください。



作家ステートメント

ひとつの素材、別々の表現、切っ掛けも役割も違う存在だけれど、
どちらも私の中にある世界。

●うつわ

毎日の暮らしの中でいつもそこにあって、毎日顔を合わせる友達のような、

そんな存在になれば良いなと思って作っています。

手びねりはスロウペースで、ゆがみも多く、言ってみれば非効率な作り方ですが、その分柔らかいシルエット、豊かな表情は何とも言えない魅力があり、自分の手で作ったという確かな手ごたえがあります。

「手になじむ、生活になじむ」こと、

毎日の食卓で使いやすいサイズや形、

「飾りたい」より「使いたい」を心掛けています。

マットな質感の釉薬の、さわやかな色と少しのくすみが今の好みです。

◆立体

立体作品は、私がこの世界を理解するために繰り返す思索の証です。

今興味を持っているのは、心の中の世界。

今回のタイトルは「cloudy」。

言いたいけど言い出せない、誰にでも感じた事のあるような最初は小さなもやもやが、

どんどん増えていき…雲のように頭上に垂れこめている、

そんな人たちの姿です。

河上奈未

京都市在住

1997京都市立芸術大学美術学部工芸科卒

卒業後、関西を中心に展覧会多数